平成３０年２月１９日

第４学年保護者の皆様

利府町立菅谷台小学校
校長　内海　喜久子

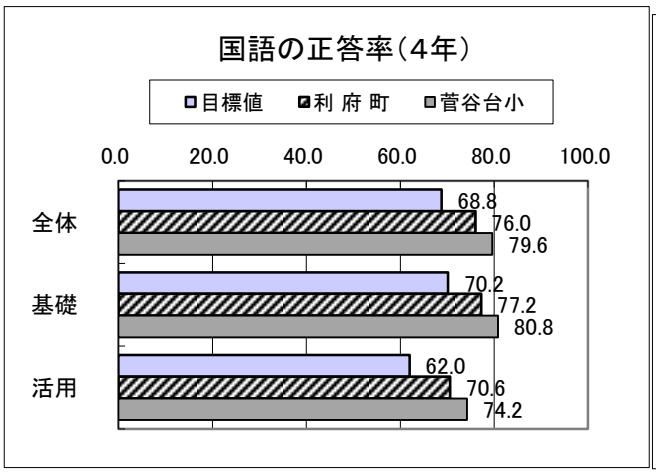
２９年度　標準学力調査の結果とこれからの取組（４学年）

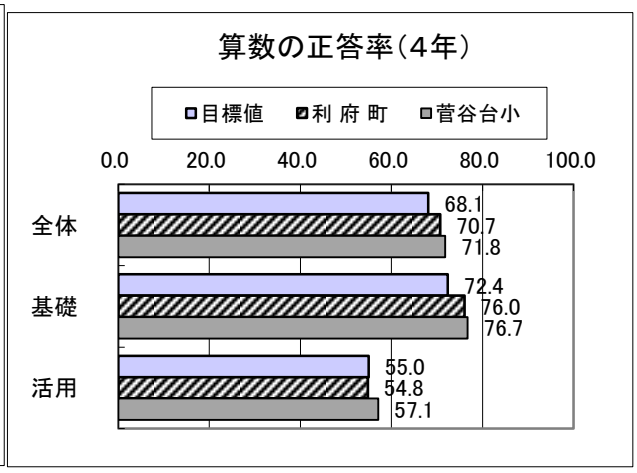
２学期末に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また，児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い，励ましの言葉をかけていただければと思います。

尚，試験用紙の配布は町外に未実施の学校があるため，３月１２日以降にいたします。

学年全体の結果から

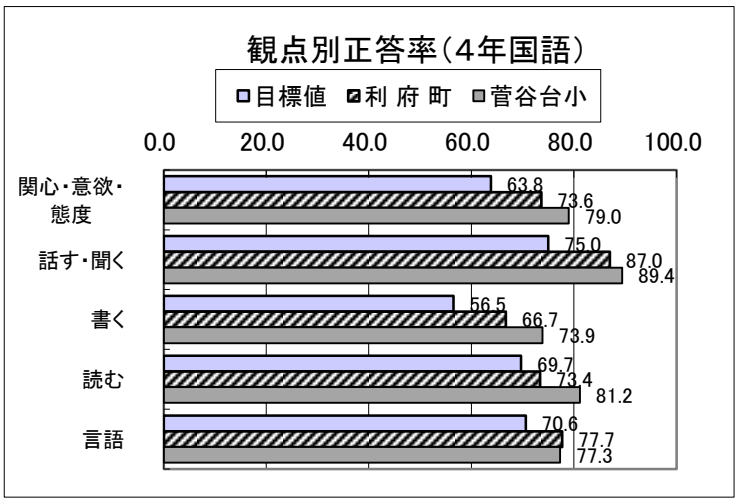
目標値とは，データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが，およそ全国平均の数値と近いもので，結果を比較する目安となる数値です。





- 国語については，全体で 10.8 ポイント，基礎で 10.6 ポイント，活用で 12.2 ポイント目標値を上回り，学習内容がよく身に付いていることが分かりました。
- 算数については，全体で 3.7 ポイント，基礎で 4.3 ポイント，活用では 2.1 ポイント目標値を上回りました。学習内容が概ね身に付いていることが分かりました。

【国　語】　◎　よくできていた点　●　課題としてあげられる点



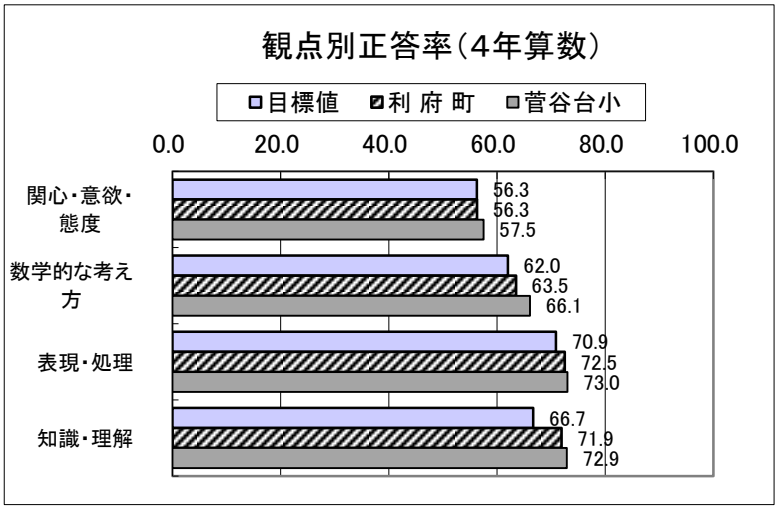
◎　物語や説明文の内容を読み取る問題の正答率が高くなっています。

◎　指定された段落構成で文章を書くなど，作文の問題の正答率が高くなっています。

◎　言葉の学習の中で，文の構成（述語）の理解に関する問題の正答率が高くなっています。

●　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の漢字を読む，書く問題の正答率が多少低くなっています。

【算　数】　　◎　よくできていた点　　●　課題としてあげられる点



◎　計算のきまり（分配法則）に関する問題の正答率が高くなっています。

◎　角度に関する問題で，三角定規を組み合わせてできる角度の問題の正答率が高くなっています。

●　題意を理解し，箱の面の面積の合計と模造紙の面積を比較し，説明する問題の正答率が低くなっています。

●　長方形の対角線の特徴を理解し，それについて答える問題の正答率が低くなっています。

今後の取組

☆　国語では，授業や家庭学習において，新出漢字の書き取りを繰り返し，漢字の習得に取り組ませていきます。

☆　算数では，量と測定の領域で面積の学習内容を深めるために，身近にあるものの面積を測量したり，面積の大小を比較させたりしながら定着を図ります。

　様々な問題に取り組ませる中で，題意を確認していくことや解答後に見直しをすることを習慣化できるように声掛けをしていきます。

　いろいろな四角形の学習を振り返り，対角線の特徴に関連づけて考察し，これまでの図形の見方に対角線による見方を増やしていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

①　**教科正答率（%）**

　すべて正解の場合は１００．０%になります。あなたの欄のお子さんの数値と目標値（到達してほしい数値）を比較しておおよその目安としてください。

　右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

②　**内容別の正答率**

　国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により，３段階で表されています。特に▲だった内容が目標値に下回っていることを表します。

　表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

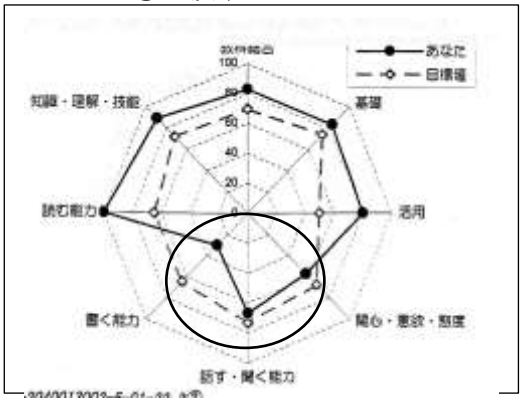
（例）　　小学校１年　さんすう

問題の内容	正答率（%）		評価
	あなた	目標値	
２０までのかず	８０．０	８２．５	○
たしざん	８７．５	７７．９	◎
ひきざん	６５．４	８１．４	▲
総　合	７８．５	７９．５	○

▲の評価であるひき算の学習が目標値を下回っていることがわかります。

※詳しくは，個人票の裏面をご覧ください。

③　領域別のグラフ



『目標値』より内側の値（○の中の部分）は目標に届かなかったことを表します。